

## 令和7年度（2025年度）法人本部拠点事業報告

### 1. 事業総括

理事長の指示に基づき、本会の業務全般を統括するとともに、各事業間の連絡・調整を図り、適正な運営と円滑な業務の遂行に努めました。また、役員等との連携により「経営組織のガバナンス強化」等マネジメント体制の強化に取り組みました。

長期ビジョンを実現するため諸施策を講じ、法人としての付加価値を高め持続的可能な経営の安定化を目指しました。地域との関係性を強化するため、多様なニーズの対応や広報機能を高め、本会の魅力とブランド力を高めることに努めました。

### 2. 事業目標に対する評価

#### (1) 利用者サービスの充実

KGI(最重要目標指標)	指標名	指標値	実績
	収益計画達成率 (経常増減差額 58 百万円)	100%	77.5% (経常増減差額 45 百万円)

#### (2) 地域社会との関係性強化

KGI(最重要目標指標)	指標名	指標値	実績
	ホームページアクセス数	年間 7,000 件	年間 7,850 件 (112.1%)

#### (3) 生産性向上

KGI(最重要目標指標)	指標名	指標値	実績
	計画稼働率(実稼働率/計画稼働率)	100%	92.8%
	計画職員充足率(実職員数/計画常勤換算数)	100%	100%
	人時生産性(付加価値額/総所定労働時間)	58.63	62.20
	労働生産性(付加価値額/常勤換算数)	113,526	120,417

※人時生産性…業務効率(作業効率)の評価、労働生産性…労働力に対して得られた成果

### 3. 計画事業の総括

#### (1) サービス事業への取組み

理事会の適宜開催や諸規程の改定を行い、事務の効率化、経営管理体制の整備に努めました。また各拠点の収益計画、生産性目標値の達成支援を行い職員体制管理や労働時間管理実施のサポートを行いました。

人材定着施策は、安全衛生、健康管理の実施、労働時間管理、社内報の発行等を行い職場環境の整備に努め、事業所間のチームワークを醸成するため法人イベントの開催等を実施しました。また、若年層確保のため企業説明会の参加、各学校を広域的に訪問し、各事業所の取組内容のPR、修学資金貸与制度の周知に努め職種理解を深めていただきました。

#### (2) 人財育成への取組み

絶対ルールの遵守を基に、コミュニケーション機会を創出し対話の質向上に努めました。組織環境構造マネジメントに基づき、組織内の位置・役割・責任を踏まえ、変化

を生み出す考え方「主体変容」を行動に移し実践してまいりました。

職員の基礎的及び専門的資質の向上並びに必要な能力開発を図るため、業務上必要となる資格取得並びに更新を支援いたしました。

高齢者福祉部門では、高齢者虐待や権利擁護に関して意識付けができるよう外部講師による介護倫理研修を1年間受講しました。身体的自立の回復や維持を実現するための科学的介護を行う意味や年齢による差別や偏見、歪んだ利己的な仕事観等問題、課題の本質を学びました。

### (3) 地域との関係強化への取組み

保育所や入所施設において地域活動を通してPR活動に努めました。各拠点が取り組むサービス内容を地域の方や関係者へ理解を育んでいただく業界内外へのアプローチや発信方法は引き続き課題となりました。

町内法人との協働推進事業として、地域課題を整理し協働で解決すること目的に議論を重ね、医療福祉連携ビジョンを策定しました。法人間の信頼関係を深めていくとともに、共通課題を可視化し実務的な連携を進めて参ります。

### (4) 生産性向上への取組み

担当業務の入れ換えや給与処事務の分担等を行い、特定職員へ業務が集中しないよう業務量の平準化に取り組み長時間労働の防止に努めました。

拠点の業務の洗い出しを実施し、業務フローの分析結果を関係者と共有しながら問題解決や業務効率化の支援を行いました。

情報共有システムの構築を目的に、全事業所間でグループウェアを導入し迅速な情報の共有、業務効率化、ペーパーレス化を図りました。

人事労務ソフトを導入し、全職員の業務効率やコスト削減、労務管理の最適化に努めました。人事情報の整備など職員データベースの再構築を行って参ります。

令和7年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下のとおりです。

## サービス計画

### 1. 総務関係業務

実施項目	評議員会・理事会等の運営
	評議員会は定款に規定されている決議事項を審議する為に、定時評議員会を開催しました。理事会は7回開催し、法人の業務執行等に係る事項について審議するとともに、理事長等の職務執行報告を行いました。

実施項目	人事制度の運用
	・給与規程の見直しを行いました。 ・評価者訓練は未実施となりました。

実施項目	ヘルス・マネジメント推進
	・各施設設備の安全管理徹底を発信し、安全衛生意識の高揚に努めました。 ・健康意識を高める有効な情報の発信に努めました。

実施項目	人材定着施策
------	--------

<ul style="list-style-type: none"> <li>・労務管理、労務環境にかかる規程の策定、改定を行いました。</li> <li>・理事長より各職員へ誕生日プレゼントの贈呈を行いました。</li> <li>・職員間の交流、親睦を図るため、懇親会及びスポーツ大会（モルック）を実施しました。</li> <li>・社内文化醸成のため、定期的に社内報を発行しました。</li> <li>・絶対ルールを遵守し働く環境の改善に努めました。</li> <li>・人事労務ソフトを導入し職員の環境整備を行いました。</li> </ul>	
KPI	離職率 7%以下
実績	離職率 3.9%

## 2. 経理関係業務

実施項目	管理会計資料の作成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・試算表作成他、各拠点の収益状況等にかかる分析管理資料の提供を行いました。</li> </ul>	

## 3. 広報関係業務

実施項目	ホームページ、SNS の運用
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの鮮度維持に努めました。</li> <li>・各拠点で SNS 発信に努めていただきました。</li> </ul>	
KPI	年間ブログ更新数 100 回
実績	更新数 40 回

## 4. 事業支援業務

実施項目	人材確保活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒者等若年層確保のため、学校訪問や高校生を対象とした交流会、企業合同説明会等に参加し情報の収集に努めました。</li> <li>・各校へ修学資金貸与制度の周知活動を行いました。</li> <li>・インターンシップは広域的（広島市）に受入れ申請を行いました。期待した応募がなく十分な成果が得られませんでした。</li> </ul>	
KPI	新卒採用 5 名
実績	1 名（修学資金貸与制度）

## 5. 人員体制の状況（常勤換算）

（単位：人）

役職名	計画		実績		差異	
	正職	非正職	正職	非正職	正職	非正職
事務局長	1		1			
次長						
課長						
係長	1		1			
一般職員	4	2	4	2		
計	6	2	6	2	±0	±0

※一般職非正職 2 名は大阪健康福祉短期大学への派遣職員

## 人財育成事業

### (1) 事業所内研修

ハラスメント研修
参加者 一般職、管理職
労務管理研修
参加者 事業所長
メンタルヘルス研修（健康づくり講座）
参加者 各事業所職員
介護倫理研修
参加者 高齢者福祉事業所職員

### (2) 事業所外研修

人権権利擁護研修
参加者 1名
人権同和教育研修
参加者 1名
公正採用選考人権啓発推進員研修
参加者 1名
メンタルヘルス研修
参加者 1名
健康経営セミナー
参加者 1名

### (3) 役員研修

令和7年度社会福祉法人指導監査研修会
参加者 監事2名、事務局1名
令和7年度社会福祉法人監事研修（eラーニング）
参加者 監事2名、事務局1名

## 積立の状況

(単位：千円)

計画	実績	取崩
500	500	499

## 感染症・災害への対応への取組み

BCPに基づくシミュレーションや訓練等、各拠点の支援を行いました。

## 特記事項

特にありません。

以上